

環境報告

コスモ石油グループは、経営の重要課題として地球環境問題に取り組み、資材購入・研究・開発・製造・物流・販売および廃棄等の事業活動のあらゆる過程で、環境負荷低減や環境保全に努めています。

環境活動の全体像

コスモ石油グループは、連結中期環境計画で、「環境負荷削減」と、地球規模の持続可能な社会実現に向けた「未来価値醸成」の2つの切り口から環境活動に取り組んでいます。

◆第2次連結中期環境計画(2005-2007年度)の目標および実績

| | テーマ | 主な目標 | 主な実績 | 評価 |
|--------------------|------------------|---|--|----|
| 環境負荷削減 | 地球温暖化防止 | ●コスモ石油：製油所の省エネルギーと京都メカニズムの活用による、京都議定書第一約束期間(2008-2012年度)のエネルギー消費原単位1990年度比▲15% | 【2005-2007年度】原単位削減目標は、毎年目標値を達成。 【2007年度】エネルギー消費原単位は▲12.0%（目標▲11.0%）を達成し、且つ、前年(▲11.6%)を上回った。 | ○ |
| | 有害物質管理／ 廃棄物対応 | ●コスモ石油：廃棄物最終処分率 期間平均1%未満 ●環境管理(環境負荷物質／化学物質／ 廃棄物の管理)徹底 | 【2005-2007年度】コスモ石油の3年間平均の最終処分率は0.7%。 ^{*1} 関係会社も概ね自主目標を達成。 【2007年度】コスモ石油の最終処分率は0.5%。 関係会社は6事業所のうち、5事業所が自主目標を達成。 ^{*2} | ○ |
| | 土壌環境対応 | ●サイト別(製油所／油槽所／SS／ 遊休地)予防策と事後対応策によるリスク低減 | 【2005-2007年度】SSの土壌調査は計画どおり実施。また、管理体制も強化。 【2007年度】SSの土壌調査対応と啓発活動を計画通り実施。 製油所は、点検補修と拡散防止対策を順次実施。 | ○ |
| 連結中期環境計画 未来価値醸成 | 環境保全施策 | <オフィスグリーン> ●コスモ石油(2003年度比2007年度目標)： コピー用紙▲16%、社用車燃料▲18%、 事務所電力▲10% ●関係会社(2004年度比2007年度目標)： コピー用紙▲14%、社用車燃料▲12%、 事務所電力▲11% | <オフィスグリーン> 【2007年度】 ●コスモ石油：コピー用紙▲5%、社用車燃料▲14%、 事務所電力▲10% ●関係会社：コピー用紙+10%、社用車燃料+6%、 事務所電力+9% | △ |
| | | <グリーン購入> ●物品のグリーン購入およびサプライヤーの環境対応 ボトムアップ | <グリーン購入> 【2005-2007年度(2007年度)】 ●グリーンサプライヤー数：331社(125社) | |
| | | <社会／環境貢献活動> ●地域協力のさらなる強化(製油所／SS) | <社会／環境貢献活動> 【2005-2007年度(2007年度)】 ●千葉製油所：里山整備、四日市製油所：清掃活動、 コスモ松山石油：「コスモの森」づくり ●環境貢献活動の支出額：278,010千円(95,221千円) ●クリーンキャンペーン：延べ117会場、延べ42,391名参加、 累計ごみ回収量1,226,543L | |
| | 環境コミュニケーション | ●社会全体および各ステークホルダーを対象とした情報発信と双方向コミュニケーションの 推進 | ●CO ₂ 吸収実験装置を活用した「エコプロダクツ展」出展、 アブダビでの「World Future Energy Summit」参加。 ●コスモ石油エコカード基金主催の「富良野エコツアー」を開催。 コスモ・ザ・カード「エコ」会員20名の参加。 ●環境広告(CM・ラジオ)などの実施。 | ○ |

※表中の▲は削減を表します。 ※実績に対する評価：○は達成 △は一部未達成 ×は未達成を表します。

*1 廃棄物最終処分率は、4製油所・四日市霞発電所(IPP)・油槽所・研究所を対象とします。

*2 関係会社6事業所は、コスモ松山、コスモエンジニアリング、コスモ石油ルブリカンツ(2工場)、コスモ石油ガス、北斗興業。